

M E M O

# 関西大学カーボンニュートラル研究センター 設立記念シンポジウム

日 時：2022年10月19日（水）14：00～17：00（開場 13：30）  
会 場：関西大学 第2学舎 BIG ホール 100  
主 催：関西大学カーボンニュートラル研究センター

## プログラム

- 14：00 開会の挨拶（センター概要説明） カーボンニュートラル研究センター長 北原 聡  
14：10 大学代表挨拶 関西大学 学長 前田 裕  
14：20 法人代表挨拶 学校法人関西大学 理事長 芝井 敬司  
14：30 基調講演①  
「科学と文化のマッチングによるカーボンニュートラル」  
総合地球環境学研究所 所長 山極 壽一 氏  
15：00 基調講演②  
「地域脱炭素において大学に期待する役割」  
環境省大臣官房環境教育推進室 室長 河村 玲央 氏  
<休憩>  
15：40 講演①  
「関西電力のゼロカーボンに向けた取組み」  
関西電力株式会社リユース本部開発部門「カーボ」ソリューショングループ 部長 久留島 聡 氏  
15：55 講演②  
「Daigasグループによる持続可能なカーボンニュートラル社会の実現に向けて  
～Creating Value for a Sustainable Future～」  
大阪ガス株式会社カーボンニュートラル推進室 室長 兼原 洋介 氏  
16：10 講演③  
「カーボンニュートラルの経営・会計学—TCFDを中心に—」  
関西大学 商学部 教授 岡 照二  
16：25 講演④  
「カーボンニュートラル達成への道のりを容易ならしめる金融・保険商品に関する研究」  
関西大学 社会安全学部 准教授 桑名 謹三  
16：40 講演⑤  
「高性能蓄電池によるカーボンニュートラル社会の実現」  
関西大学 化学生命工学部 教授 石川 正司  
16：55 閉会の挨拶  
カーボンニュートラル研究センター 副センター長 上田 正人

（司会 関西大学 副学長 高橋 智幸）

【基調講演概要】



科学と文化のマッチングによるカーボンニュートラル

大学共同利用機関法人  
人間文化研究機構  
総合地球環境学研究所  
所長 山極 壽一



地域脱炭素において大学に期待する役割について

環境省大臣官房 総合政策課  
環境教育推進室  
室長 河村 玲央

地球温暖化は人新世と呼ばれる現代の大きな人為的圧力による複合的な現象である。カーボンニュートラルを実現してこれを抑えるためには、人間の暮らしを根本的に変える文化と科学の調和が必要である。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、政府一丸となって取組が進められている中、環境省は「地域」と「暮らし」の脱炭素化を進めている。大学等高等教育機関は、地域の「知の拠点」として、自治体や地元企業の脱炭素化の取組への先端的な知見の提供や、カーボンニュートラル人材の育成への貢献など、「地域」の脱炭素化を加速する役割が期待される。新設されたカーボンニュートラル研究センターの活躍に期待したい。

【基調講演者プロフィール】

山極 壽一（やまぎわ じゅいち）

京都大学理学部卒、同大学院理学研究科修士課程修了、同大学院理学研究科博士後期課程研究指導認定、退学。

京都大学理学博士。（財）日本モンキーセンター・リサーチフェロー、京都大学霊長類研究所助手、同大学院理学研究科助教授、教授。理学研究科長・理学部長を経て、2020年まで京都大学総長を務める。

国際霊長類学会会長、国立大学協会会長、日本学術会議会長を歴任、現在、総合地球環境学研究所所長、環境省中央環境審議会委員。

河村 玲央（かわむら れお）

2000年3月、早稲田大学政治経済学部卒業。環境庁（現 環境省）に入庁。

主に地球温暖化対策の経済的・金融的措置の検討と実施を担当。直近では生物多様性の主流化も担当。

米国大学院留学、OECD 環境総局出向、財務省主計局文部科学5係主査、環境大臣秘書官、生物多様性主流化室長等を経て、前職の脱炭素化イノベーション・研究調査室長では、大学等コアリションの地域ゼロカーボンWGの支援等を担当。本年7月に同業務を環境教育推進室に移し、同月より現職。

本年9月より大臣官房 総合政策課 計画官を兼務。

M E M O

Series of horizontal lines for writing a memo.